



株式会社UKCホールディングス
株主様へのご案内

2017年3月期(第8期)
2016年4月1日~2017年3月31日



代表取締役社長
栗田 伸樹

栗田伸樹プロフィール

- 生年月日 1955年5月6日生 (62歳)
- 略歴
- 1979年4月 ソニー株式会社入社
- 2006年4月 Sony Electronics Inc. (米国) Consumer Product Marketing, EVP
- 2009年6月 ソニー(株)グループ役員
- 2009年7月 ソニーマーケティング(株) 代表取締役執行役員社長
- 2012年4月 索尼(中国)有限公司 (ソニー・チャイナ) 総裁
- 2014年6月 索尼(中国)有限公司 (ソニー・チャイナ) 董事長・総裁
- 2017年9月 当社代表取締役社長就任

株主の皆様からの平素からのご支援、ご高配に心より厚く御礼申し上げます。

平成29年9月15日の第8期定時株主総会とその後の取締役会にて代表取締役社長を任じられました。新しい任の重さに身の引き締まる思いでございますが、この重責をしっかりと果たすべく全力で任を遂行していく所存です。

新社長としてまず最優先で取り組むべきことは、株主の皆様を始めとしたステークホルダーの方々からの信頼の回復です。この度UKC ELECTRONICS (H.K.) CO., LTD.において生じた不適切な会計処理のような事が二度と起こらないように、内部統制の強化、コンプライアンス教育を徹底し、透明で健全な事業活動を実現するように努めてまいります。

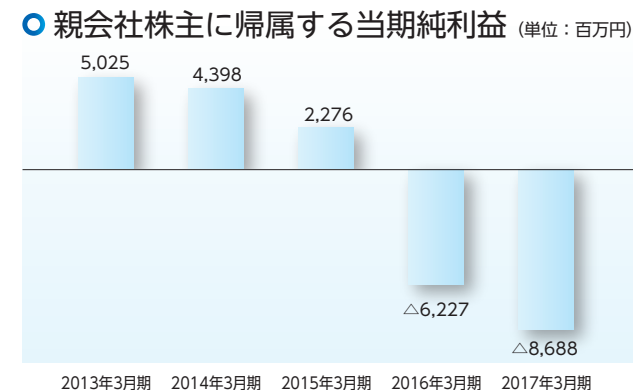
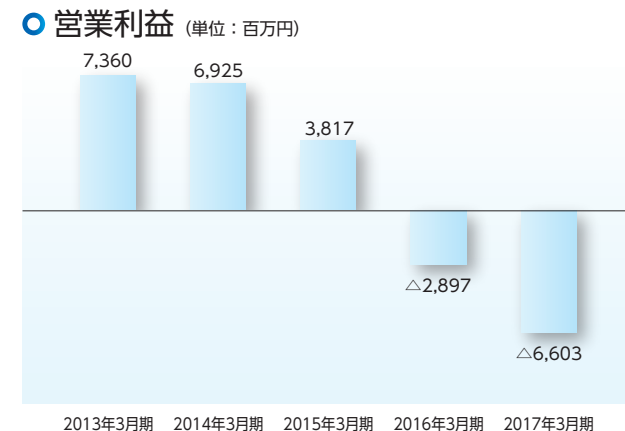
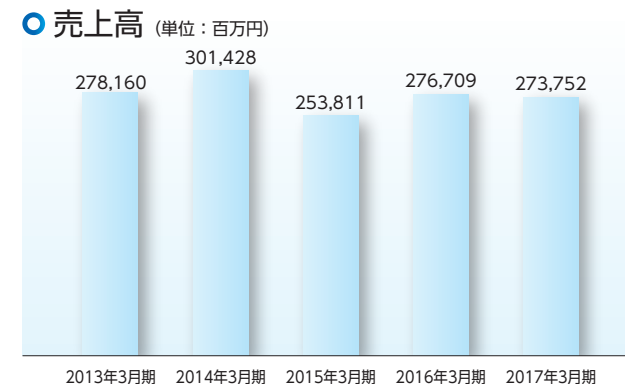
私は前職で日本、北南米、アジア諸国、中国において販売会社の社長やマーケティング責任者を務めてまいりました。私は常々担当する国、そこに住む人々の文化を尊重し、その国のルール、法律を遵守し、その国のお客様が望まれる、必要とする商品を企画し、販売してまいりました。その活動のなかで学んだことはそれぞれの国のルール、文化を心から愛し、人々に常に誠実であることが事業活動を行う上でもっとも重要であるという点でした。

エレクトロニクス商社として原点に立ち戻りお客様の声に真摯に耳を傾け、社員一丸となって、お客様の望まれていることを誠実に一つ一つ実行していくことが信頼回復の第一歩になると考えています。この活動を継続していくことで、事業の再強化と収益力の向上を図ってまいります所存です。

株主の皆様には引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

決算訂正後の業績推移

UKC ELECTRONICS (H.K.) CO., LTD.における不適切な会計処理等により、過年度決算の訂正を行いました。各グラフは訂正後の推移を表しています。



2017年3月期決算発表の遅延及び連結子会社における不適切な会計処理に関する調査・検討結果につきまして

このたびは、当社連結子会社であるUKC ELECTRONICS (H.K.) CO., LTD. (以下「UKC香港」という)における不適切な会計処理に起因する、2017年3月期(第8期)決算発表及び有価証券報告書提出の遅延、過年度決算の修正並びに第8回定時株主総会の延期により、株主の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを衷心より深くお詫び申し上げます。

2017年3月期の決算に係る準備の過程で、UKC香港における前渡金等の資産の評価について精査が必要となることが判明したため、2017年5月10日に予定していた2017年3月期決算発表を延期するとともに、当該前渡金の回収可能性の確認のため社内調査を開始しました。社内調査を進める中で、特定取引先に対する前渡金の一部に関連した売掛金回収に対する疑義が深まったことから、本件の事実関係の調査、全容・原因究明、本件が当社の業績に及ぼす影響の把握、有効な再発防止策の提言等を目的として2017年5月30日に第三者委員会を設置し、全容解明に努めてまいりました。

【 調 査 結 果 】

2017年7月19日に受領した第三者委員会の調査結果及び類似取引に関して当社が検討した結果は以下の通りです。

- UKC香港の売掛金の回収実態に照らして、合理的な見積りに基づく貸倒引当金計上がなされていませんでした。
- 直接的な証拠は検出されていないものの、UKC香港の内部管理資料、電子メール、関係者インタビューの結果等を総合すると、本件対象取引において、UKC香港が意図的に前渡金の一部を売掛金に還流させることで売掛金の回収偽装を行ったと認められます。
- 当事者取引として売上総額を表示したビジネスの一部に代理人取引として純額表示すべき取引があり、売上が過大に表示されていました。

【 会 計 数 値 へ の 影 響 】

本件に係る不適切な会計処理及び誤謬の訂正を行った結果、過年度(2012年3月期～2016年3月期)累計で、連結売上高△64,895百万円、当社株主に帰属する当期純利益△11,188百万円、連結純資産△10,649百万円の影響がありました。

【 再 発 防 止 策 】

■企業風土の改革

コンプライアンス意識、建設的なコミュニケーション・議論を尊重する企業風土を醸成するとともに、重要事項(新規事業、新規取引、回収遅延債権への対応、設備投資等)に係る意思決定プロセスの透明化を図ります。

■内部管理体制の強化

グループ会社管理、グループリスク管理、ガバナンス・コンプライアンス強化に係る部署を新設します。加えて、上記新設部署及び内部監査室の人材の強化(外部からの採用を含む)を行います。

■取締役会の機能の充実

取締役会への報告事項及び審議事項に関して、海外子会社を含む各事業部門の重要な意思決定に係る事項が漏れなく上程されるよう、取締役会の位置付け、仕組み、規程並びに運用ルールを早急に制定し、運用を図ります。

■社外取締役のさらなる活用

企業経営、海外事業、財務・リスク管理等に豊富な知見と経験を持つ社外取締役の有益なアドバイスを事業運営に役立てることとします。

■取締役、監査役、監査法人との連携

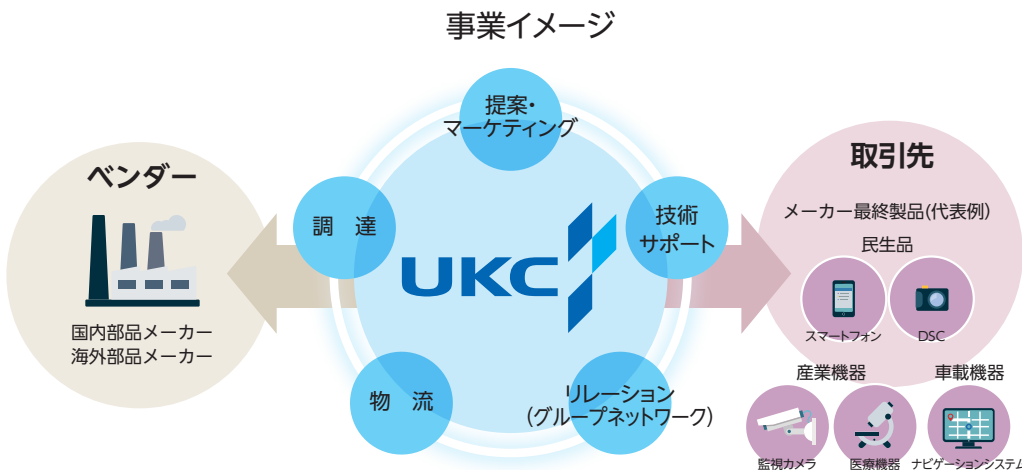
取締役(業務執行役員)と監査役間、取締役(業務執行役員)と監査法人間のコミュニケーション、更には社外取締役も加えた監査法人との定期的なコミュニケーションの場を設け、経営・事業の機会やリスクに係る情報を共有します。

【 経 営 責 任 の 明 確 化 】

本件に係る経営責任を明確にするために、関与を指摘された取締役、執行役員につきましては、退任、降格、報酬の返上・減額(20%～30%、6ヶ月)は実施済み、または実施予定であります。また、業績・財務状態の悪化に鑑み、新任も含めた執行役員以上全員の報酬の減額(5%～10%、6ヶ月)を実施予定であります。

UKCグループのセグメント別業績状況

当社グループはエレクトロニクス分野の商社として、部品メーカーと最終製品メーカーとの間を結び適切なソリューションを提供することで、社会や世界の発展に貢献しています。



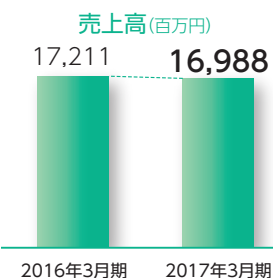
電子機器事業

売上高構成比 **6.2%**

事業セグメント業績状況

電子機器事業におきましては、第4四半期の業績は前年同期を上回ったものの、通期売上高は微減となりました。セグメント利益は、利益率の向上により増益となりました。

以上の結果、売上高は169億88百万円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益は2億50百万円（前年同期比39.2%増）となりました。



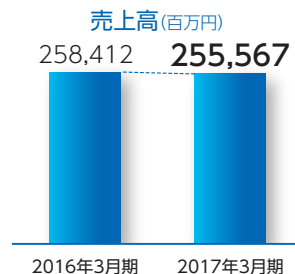
半導体及び電子部品事業

売上高構成比 **92.8%**

事業セグメント業績状況

半導体及び電子部品事業におきましては、下期は海外スマートフォン向け等の売上が好調に推移したものの、上期から11月上旬まで続いた円高の影響や4月の熊本地震に伴う一部製品の販売機会損失により、減収となりました。また、UKC香港及びUKCシンガポールにおける貸倒引当金計上等により、セグメント損失を計上しました。

以上の結果、売上高は2,555億67百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント損失は68億80百万円（前年同期は30億9百万円の損失）となりました。



システム機器事業

売上高構成比 **1.0%**

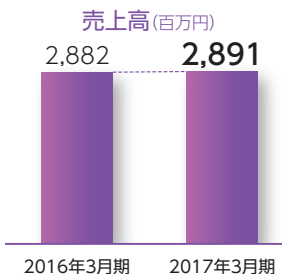
事業セグメント業績状況

非接触ICカード関連事業におきましては、売上高は前年同期比微減となりましたが、電子マネーや出入管理関連ビジネスの商談は引き続き活況に推移しております。その一方で、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、車載向け等受注増により、増収となりました。セグメント利益は、利益率の向上により増益となりました。

以上の結果、売上高は28億91百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益は2億4百万円（前年同期比48.6%増）となりました。



FeliCa・NFC対応 電子マネー決済端末 [UFT-N15xシリーズ] <OEM提供品>



○ 連結業績サマリー

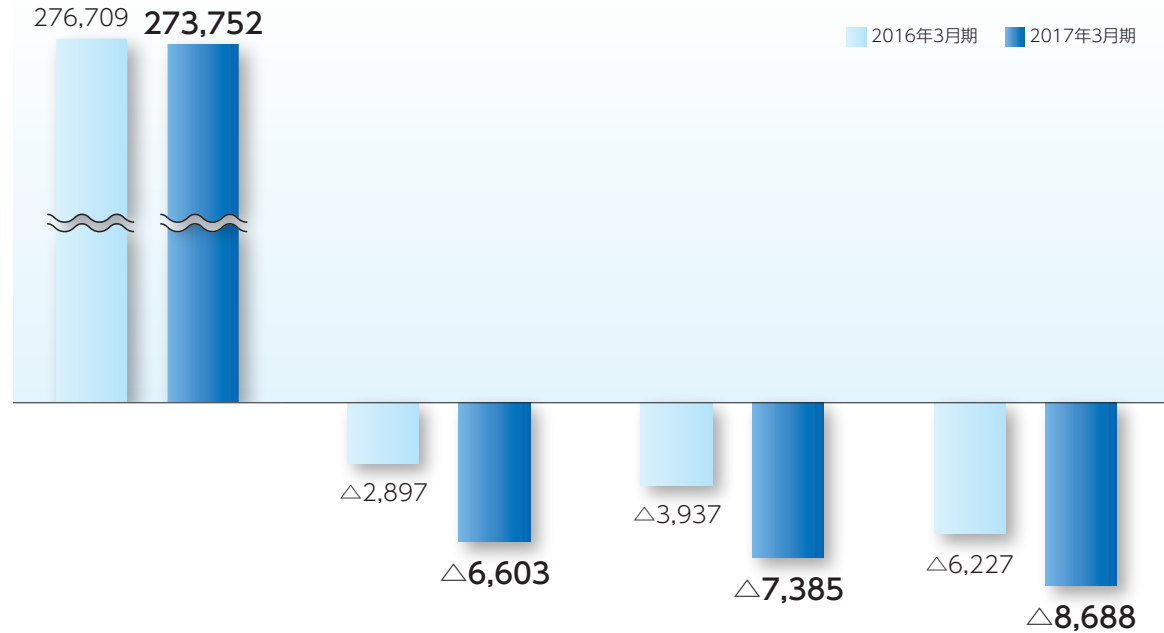
当社連結子会社であるUKC ELECTRONICS (H.K.) CO., LTD.における特定取引先に対する前渡金に関連した売掛金回収に関して、過年度の有価証券報告書及び四半期報告書の訂正、並びに過年度の決算短信を訂正いたしました。これに伴い本誌におきましても、2016年3月期の数値を修正しております。

より詳細な情報は
当社ホームページへ

UKC 決算短信

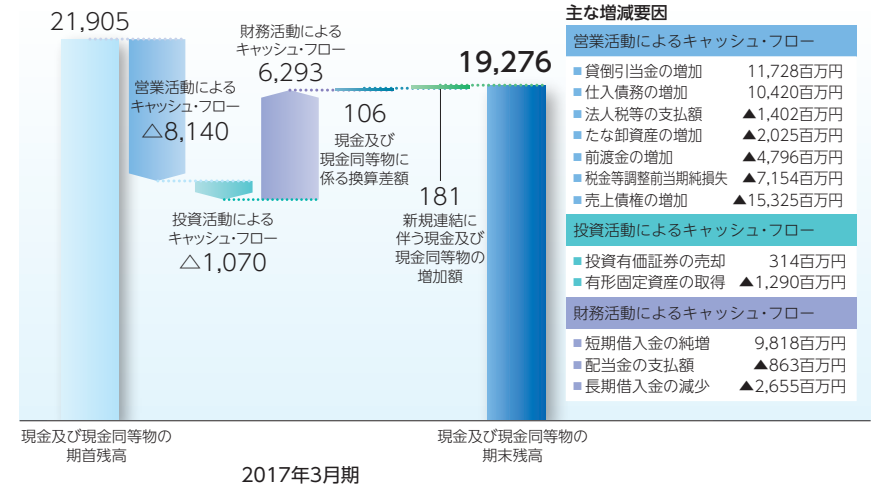
検索

○ 連結損益計算書 (単位：百万円)

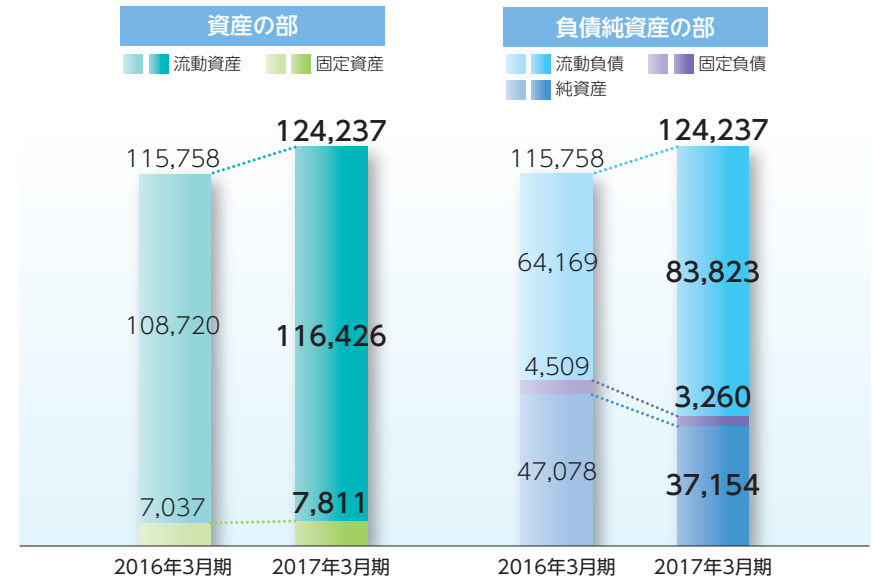


売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
Point	Point	Point	Point
前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比
▲29億57百万円 (▲1.1%)	▲37億05百万円	▲34億48百万円	▲24億60百万円
ポイント	ポイント	ポイント	ポイント
海外スマホ向け売上が通年好調も、円高(為替影響約▲200億円)と熊本地震の影響(50億円弱)により前年同期比微減	販売費及び一般管理費がUKC香港、シンガポール関連の引当金計上により増加、売上総利益の減少もあり、前年同期比減	11月以降の円安傾向に伴う為替差損益の改善(前年同期840百万円差損⇒384百万円差損)はあったものの、営業利益減が大きく、前年同期比減	前年同期に計上した投資有価証券の減損損失はなくなったものの、経常利益減が大きく、前年同期比減

○ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



○ 連結貸借対照表 (単位：百万円)



展示会 1 (株)UKCホールディングス
カーエレクトロニクス技術展
2017年1月18日～20日

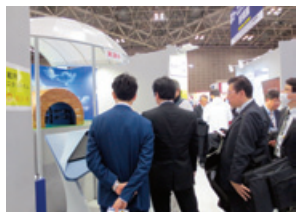
カーエレクトロニクス技術展は、カーエレクトロニクスの進化を支える半導体や電子部材、ソフトウェア、テスト技術などが出展される世界最大の専門展です。

今回、UKCホールディングスは、自動車用のカメラモニターシステムやパワーマネジメント半導体、液晶パネルなど多くの商材を展示いたしました。



【自動車用カメラモニターシステム】

近年、自動車のドアミラーにカメラを取り付けたミラーレス車の開発が進められています。当社でもソニー製のイメージセンサーをはじめとしたカメラ、電源IC、液晶パネルなどを組み合わせたカメラモニターシステムのデモキットを開発いたしました。



デモキットに採用したソニー製イメージセンサーは、圧倒的な高感度と高画質で、訪れたお客様もデモキットに映し出される映像に興味津々でした。

【液晶パネル】

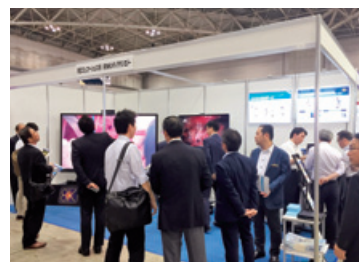
自動車用の液晶パネル4点と産業用の液晶パネル1点を展示しました。自動車用の液晶パネルは主にカーナビゲーションやバックモニターの画像を映し出すディスプレイです。



産業用の液晶パネルは、駅の行先表示や電車内で目にする乗換案内のような装置に使用されますが、映像がきれいだと好評でした。

展示会 2 共信コミュニケーションズ(株)
国際モダンホスピタルショー2017
2017年7月12日～14日

国際モダンホスピタルショーは、「健康・医療・福祉の未来をひらく」をテーマに病院をはじめ、保健・医療・福祉分野における質の向上、最新の機器、製品、システム、サービスなどを幅広く展示し、健康福祉社会の発展に寄与する専門展です。



今回は(株)NHKメディアテクノロジー様と協業し、8K術野映像、4K3D映像のストリーミング配信などを展示いたしました。

【8K術野映像】

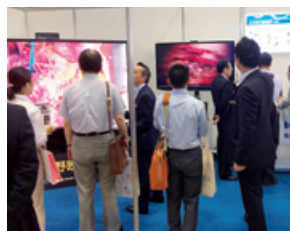
今回の展示会では、迫力のある98インチ大型ディスプレイに超高精細な8K術野映像の展示を行いました。

細かい毛細血管や手術の縫合糸をも鮮明に映し出していたため、行きかう人たちが立ち止まり息を呑むほど迫力のある映像でした。



※聖路加国際病院での手術を撮影した映像

【4K3D映像】

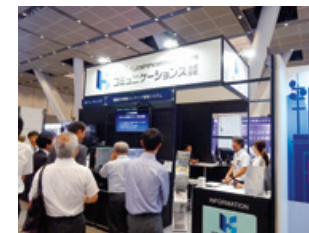


※順天堂大学医学部附属順天堂医院での手術を撮影した映像

従来は、内視鏡や顕微鏡を覗いている医師しか見られなかった映像も3D眼鏡をかけることで、目の前で手術が行われていると錯覚するほどリアルな映像を再現しました。3D映像は臨床学会や症例検討会、未来の医師たちの授業で使用され、より実践的な感覚で映像を見ることが出来ます。

展示会 3 共信コミュニケーションズ(株)
ケーブル技術ショー2017
2017年7月20日～21日

ケーブル技術ショーは、4K・8K、スマートテレビ等の高度な放送・通信連携サービスを担うインフラの推進、防災・減災への取り組みなど社会的なニーズに応える様々な新商品や技術を集めた総合展示会です。



今回は、AIを利用した動画文字解析コンテンツ管理システム「DaAlps」をはじめ、「4K/HDR編集システム」、「Lアラート連携 緊急放送システム」、「タッチ議会議中継システム」などを展示いたしました。

【動画文字解析コンテンツ管理システム DaAlps】

共信コミュニケーションズ(株)で独自に開発をした「DaAlps」は、放送素材にのっているスーパー(テロップ)をAIで解析、自動でタグ付け、素材管理を効率化するシステムです。

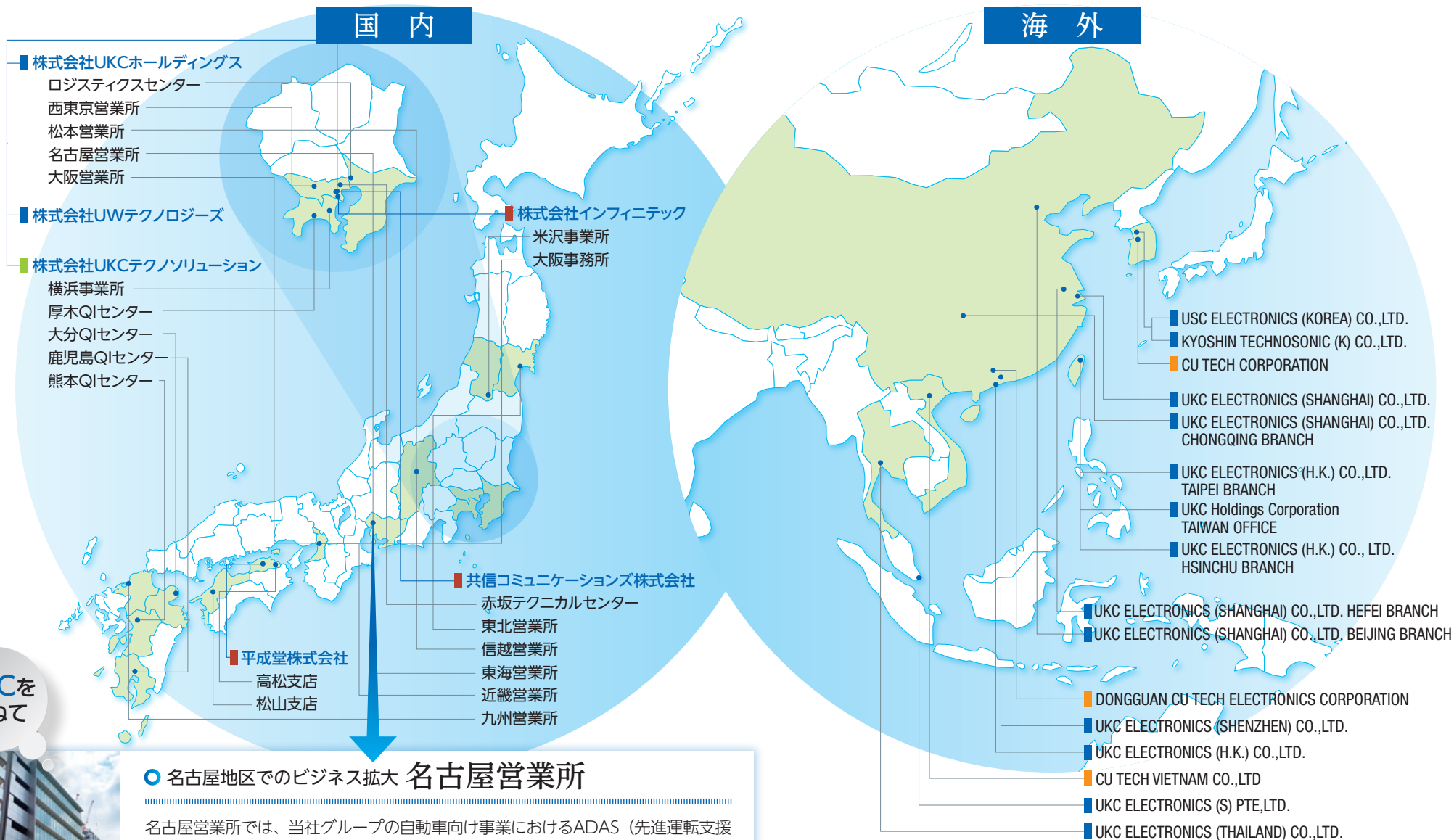


自治体で行う自主放送(動画や文字番組)、デジタルサイネージの素材管理や運用を容易にすることをコンセプトにしました。現在追加の開発を進めており、今秋11月開催の「InterBEE2017」でも紹介する予定です。

【タッチ議会議中継システム】

こちらも共信コミュニケーションズ(株)のオリジナルソリューションで、すべて自社で開発を行っています。議場運営をする際に必要な機能を備えたシステムをタッチパネル制御で簡単に操作できる仕組みです。高品質で安定したシステムによって議会議中継の配信とスムーズな議会議進行をサポートします。現在、全国60カ所を超える自治体様に導入いただき、毎年実績を伸ばしています。





UKCを訪ねて



名古屋地区でのビジネス拡大 **名古屋営業所**

名古屋営業所では、当社グループの自動車向け事業におけるADAS（先進運転支援システム）や自動運転のキーとなるソニー製イメージセンサーの拡販に取り組んでおります。また、電子ミラー向けにカメラモニターシステムを自社開発し、液晶や電源ICの拡販も行っております。私たちは営業と技術サポートの両面からの営業活動により競合との差別化を図り、今後の自動車向けの売上拡大を実現してまいります。

- 半導体及び電子部品事業(部品販売)
- 半導体及び電子部品事業(EMS)
- 電子機器事業
- システム機器事業

○ 会社概要 (2017年3月31日現在)

商号	株式会社UKCホールディングス (英文名：UKC Holdings Corporation)																
本社	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー15階 TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825																
設立	2009年10月1日																
資本金	43億83百万円																
事業内容	各種半導体・電子部品、電子機器、システム機器販売事業、半導体等の信頼性試験・環境物質分析サービス及び、EMS事業等を営むこと、並びにこれらの事業を営む会社の株式又は持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理すること																
従業員数	単体258名 連結1,925名																
取締役及び監査役 (2017年9月15日現在)	<table border="0"> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>栗田 伸樹</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>田口 雅章</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>矢島 浩</td> </tr> <tr> <td>取締役(社外)</td> <td>島崎 憲明*</td> </tr> <tr> <td>取締役(社外)</td> <td>岩本 永三郎*</td> </tr> <tr> <td>常勤監査役</td> <td>森田 清文</td> </tr> <tr> <td>監査役(社外)</td> <td>坂倉 裕司*</td> </tr> <tr> <td>監査役(社外)</td> <td>戸川 清*</td> </tr> </table> <p>*東京証券取引所の定める独立役員として届け出ております。</p>	代表取締役社長	栗田 伸樹	取締役	田口 雅章	取締役	矢島 浩	取締役(社外)	島崎 憲明*	取締役(社外)	岩本 永三郎*	常勤監査役	森田 清文	監査役(社外)	坂倉 裕司*	監査役(社外)	戸川 清*
代表取締役社長	栗田 伸樹																
取締役	田口 雅章																
取締役	矢島 浩																
取締役(社外)	島崎 憲明*																
取締役(社外)	岩本 永三郎*																
常勤監査役	森田 清文																
監査役(社外)	坂倉 裕司*																
監査役(社外)	戸川 清*																

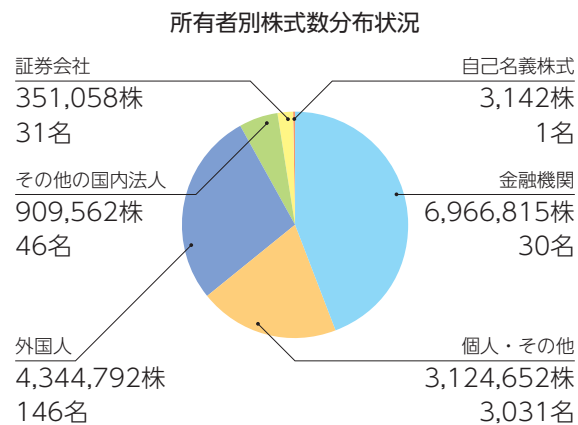
○ 株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式総数	15,700,021株
株主数	3,285名

○ 大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託ソニー株003口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	2,234	14.23
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,396	8.89
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	916	5.83
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	623	3.97
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	580	3.69
(株)三菱東京UFJ銀行	496	3.16
中山 邦子	374	2.38
(株)みずほ銀行	370	2.35
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	318	2.02
明治安田生命保険(相)	295	1.88

○ 株式分布状況



○ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会：毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	期末配当：毎年3月31日 ※中間配当を実施するときの基準日は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.ukcgroup.com/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページ	http://www.ukcgroup.com/
証券コード	3156
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

【お知らせ】

- 住所変更・単元未満株式の買取等のお問い合わせ先について
お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に係る各種手続きについて
上記の特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。
- 未払配当金のお支払いについて
支払期間経過後の配当金につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。ご郵送の場合は上記郵便物送付先までご送付ください。

株式会社UKCホールディングス
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
ゲートシティ大崎イーストタワー15階
TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825
<http://www.ukcgroup.com/>

